

農業復興の現状と課題

2015年11月20日

宮城農民連 鈴木弘弘

1. 3.11東日本大震災による 甚大な被害

塩水・流出・水没など 15,000ha / 23,600ha 5県で
作付復旧 12,000ha (2015年)

農業再建支援制度

複数農家でグループをつくり、そこへ支援 (グループ助成金制度農業版)
農家個々への支援はナシ。

水田・畑 作業場ハウス・農機具などの復旧復興
現状、グループ化施設園芸、実行組合単位 全市規模、法人化など

いまでも農産物価格低迷 老令化 収入減少による機械更新鈍化

例 米価 2014年 8400円/60kg 概算金

2015年 10,000円/60kg

生産費 16,000円 (物価費 13,000円)

農家人口減少、新規就農者減少

畜産	酪農	乳価低迷	工サ代高止まり
	肥育	素牛高騰	工サ代高止まり
	養豚	枝肉低迷	工サ代高止まり

2. 安倍政権の「アツミクス農業版の集大成」としての「TPP」 「アツミ合意」

農産物の全面自由化 市場原理主義
農業を成長産業へ
攻めの農業 農産物の輸出促進
1/7 自民党 TPP農業対策発表

3. 地域の重要な産業として農業

農業で生活できるように 生産費・所得補償を確立(国・県自治体)
家族農業経営の再構築を
農業関連インフラの再整備

農業=命の糧を再生産する最も大事な産業と位置付け直す。